

サービスラーニングの活動を振り返って

社会福祉学部社会福祉学科 2年 川口 裕子

活動先：NPO 法人 絆

クラス：村上 徹夜 先生

はじめに

サービスラーニングの活動を通して NPO とはどのような存在か知ることができた。6 日間という短い期間であったが NPO 法人絆で活動させていただき多くのことを学ぶことができ、そこから様々な問題や課題、自分の成長に気づくことができた。

1. 成長と気づき

NPO 法人絆は困ったときはお互い様の精神で、人と人の絆のつながりを大切にしている場であると知ることができた。

活動としては、3 回目となる絆まつりを担当させていただき、企画提案、準備、運営を考えることになった。6 日間という短い期間で計画を立てて準備を進めていかななくてはならなくてとても大変だったが職員の方や、利用者さんに手伝っていただきなんとか当日のお祭りに間に合わせる事ができた。多くの方々の協力がなければ間に合わせる事ができなかつたととても実感した。

準備では主に一人ひとりゲームの担当を行った。中でもスタンプラリーには力を入れおり、NPO 法人絆のことを知ってもらえるために、スタンプ台と一緒に「絆」についてのクイズを掲載した。きずなまつりのサブタイトルにある「～遊んで知ろう！絆のいろは」ということで、地域の方々が NPO 法人絆についてどんなことをやっている場なのか。NPO とはどういった団体なのかを遊びながら簡単に知ってもらおうと思い準備を行った。

祭り当日は、とても多くの方々が来てくださった。テントの準備などにボランティアの方々や、ゲームの担当をしているときはガールスカウトの子たちが手伝ってくださった。前半と後半にシフトを組むことによって私たちも地域の方々や利用者さんに混ざってまつりを楽しむことができた。ゲームでは何度も何度も並んで遊んでくれる子が多くほんとに楽しそうに遊んでくれてとても嬉しかった。屋台も多くの方が利用してくださり楽しんでいただけた。灯籠や花火もうまくいきまつりを終わらすことができた。

自分たちも一緒になってまつりを楽しむことによって地域の方々とさらに交流することができるし、まつりも楽しいものになると感じた。

活動を終えて、計画的に準備を行う大切さ、協力して物事を進める大切さを学んだ。困ったときはお互い様。人と人のつながりの大切さを身に染みて感じた。ここで学んだことを実生活にもつなげていきたい。

2. 問題と課題

活動を通して、NPO 法人がどんな団体なのか地域の人によく知られていないと感じた。まつりのポスターやチラシを配りに行った際、NPO 法人をよく知らないという場所が多くあると感じられ、ポスターを受け取ってもらえないところもあった。

今回この祭りも3回目となり少しずつだが地域の人に知ってきってもらえているのではないかと思う。認知度を上げていくためにも祭りを続けていくべきだと考える。NPO 法人を必要としている人がいるにもかかわらず、存在を知らなかったりどんなことを行っているのか知らない人が多く利用できていない人もいると思うので、祭りのような地域との交流や新聞や雑誌などに掲載してもらうなど、NPO 法人を知るきっかけを作っていくことが大切だと感じた。